

ビジネスアイデアの概要

現在、環境問題対策として推奨されているバイオプラスチックの生産は、原料の9割以上が輸入されたものであり、関税や気候変動によるコストが変動し易い事が懸念されている。バイオプラ素材のコストや機能性に課題が多く、発展途上の最中である。

私は、高知大学発の陸上養殖技術を活用し、量産されたアオリを原料とするバイオプラスチックを生産する技術の社会実装を目指す。多細胞植物で最も成長が早く、日本で生産可能なアオリは新たな持続可能な原料であり、プラスチックの原料として高いポテンシャルを持つ。

ビジネスアイデアを事業化するための課題

大量生産

- ・現在の海藻陸上養殖技術よりも低コスト且省力化された原料生産システムの開発
- ・既存のバイオプラスチック製品を代替え出来るだけの大量生産システムの構築

用途探索・機能性獲得

- ・市場に合ったプラスチック製品の作製、また付加価値の探索

事業化の見通し

現在の海藻の陸上養殖システムは確立しており、昨今の海藻の収穫量減少に伴い全国的に広がりを見せているが、導入コストが大きく低価格の原料生産には向いていない。安価かつ需要を満たす供給量の実現が事業化の大前提となる。まずは、現状の素材で参入見込みのある市場を見つけ出し、そこで需要を満たせるほどの量産体制と機能性の獲得を目指していく。さらには、プロトタイプを作製し市場ヒアリングに取り掛かる事が事業化の第一歩となる。

事業者情報

代表：佐藤 悠世

メンバー：

天野心晴（高知大学 学部4年）

サポーター：

難波卓司（アドバイザー教員）

竹田順一（技術補佐員）

ビジネスアイデア概要図等

